

購買意欲そそる投稿は？

常葉大・坪井ゼミ 宣伝法研究

インスタで反応確認

常葉大経営学部坪井晋也教授(経営学)のゼミと静岡市葵区の大型商業施設「マークイズ静岡」が共同し、写真共有アプリ「インスタグラム」を活用したマーケティング研究を行っている。ゼミ生12人が25日、テナント店舗を訪れて商品の撮影などを行った。

マークイズ静岡協力

坪井ゼミでは若者の方法を研究。3月に同情報収集における主要施設と連名で公式アカツールとなったインスタウンドを開設し、購買タグラムを使い、商業意欲をかき立てる商品施設に来客を促す宣伝説明を考えて定期的に

投稿している。

ゼミ生たちは撮影で衣料品や雑貨の店を訪れ、スタッフが薦める商品を取材した。モデルのポーズや目を引く写真の構図を考えながら撮影し、検索にかかりやすいハッシュタグと文章を考え

今後は投稿に対する消費者の反応を定期的に確認しながら、商品の魅力が伝わる理由を探るという。杉本理恵さん(20)は「若い世代が買いに行きたいと思える情報を発信したい」意気込む。

(社会部・国本啓志郎)

モデルにポーズを伝えながら撮影する学生＝静岡市葵区のマークイズ静岡

